

健康社会マネジメントプログラム（案）

H27. 12. 18

1 趣旨

一人ひとりの健康な暮らしを実現するためには、家族、組織、地域、日本、世界中の誰もが健康を享受できる社会が必要である。そのためには、関連する諸課題に対するイノベーティブな解決法を提案・実施できる人才、マネジメント力を持って社会づくりに貢献できる人才が必要である。

誰もが健康を享受できる社会を目指して、自ら業を起す起業家、既存の組織においてイノベーションを創出できる者（組織内企業家）の育成を目指し、本プログラムを設置する。

2 プログラムの概要

- 誰もが健康を享受できる社会づくりに貢献できる人才育成のために必要な科目を、プログラム指定科目として指定。
- 本プログラムの中心となるゼミナールのほか必修科目を含む所定の単位数を履修した者をプログラム履修者として認定し、履修証明書を発行する。
- 2学部いずれの学生も履修が可能とする。

3 求められる能力と主な科目

能力	俯瞰力	課題解決力		リーダーシップ
主な科目	健康マネジメント論	ソーシャルビジネス論	コミュニティデザイン論	リーダーシップ論

※健康マネジメント論…健康な社会づくりに関わる様々な要素の関係性を理解し、ビジネスや公共政策の形で展開していくための知見を学ぶ。

4 学部別科目（想定）

	総合マネジメント学部	健康発達学部
専門科目	ゼミナール、インターンシップ（必修）	
	ソーシャルビジネス論 マネジメント学、イノベーション・マネジメント 人材マネジメント論、組織行動論、組織間関係論、リーダーシップ論、エモーショナルマネジメント論 コミュニティデザイン論、コミュニティデザイン（演習） NGO論 健康マネジメント論、医療経済学	健康発達概論、公衆衛生学、社会福祉学、長野県健康社会史 食ビジネス概論、食文化論 地域子育て支援論、世代間交流論、
総合教育科目	東洋哲学、養生論	

5 その他

健康社会マネジメント研究センター（仮称）※を設置し、地域の関係団体と連携をしながら、健康社会マネジメントプログラムを運用するための拠点としての機能をもたせる。

※教育課程・教員選考専門部会（H27.7.9）で検討された「地域共生センター（仮称）」の名称を変更。

健康社会マネジメントプログラム イメージ図



【本プログラムの 目指す人材像】

起業あるいは既存の組織でイノベーションを創出できる組織内企業家

健康社会マ
ネジメントプ
ログラム
Think global Act Local

リーダ
シップ

ソーシャ
ル・ビジ
ネス

コミュニ
ティ・デ
ザイン

総合マネジ
メント学部

健康発達
学部

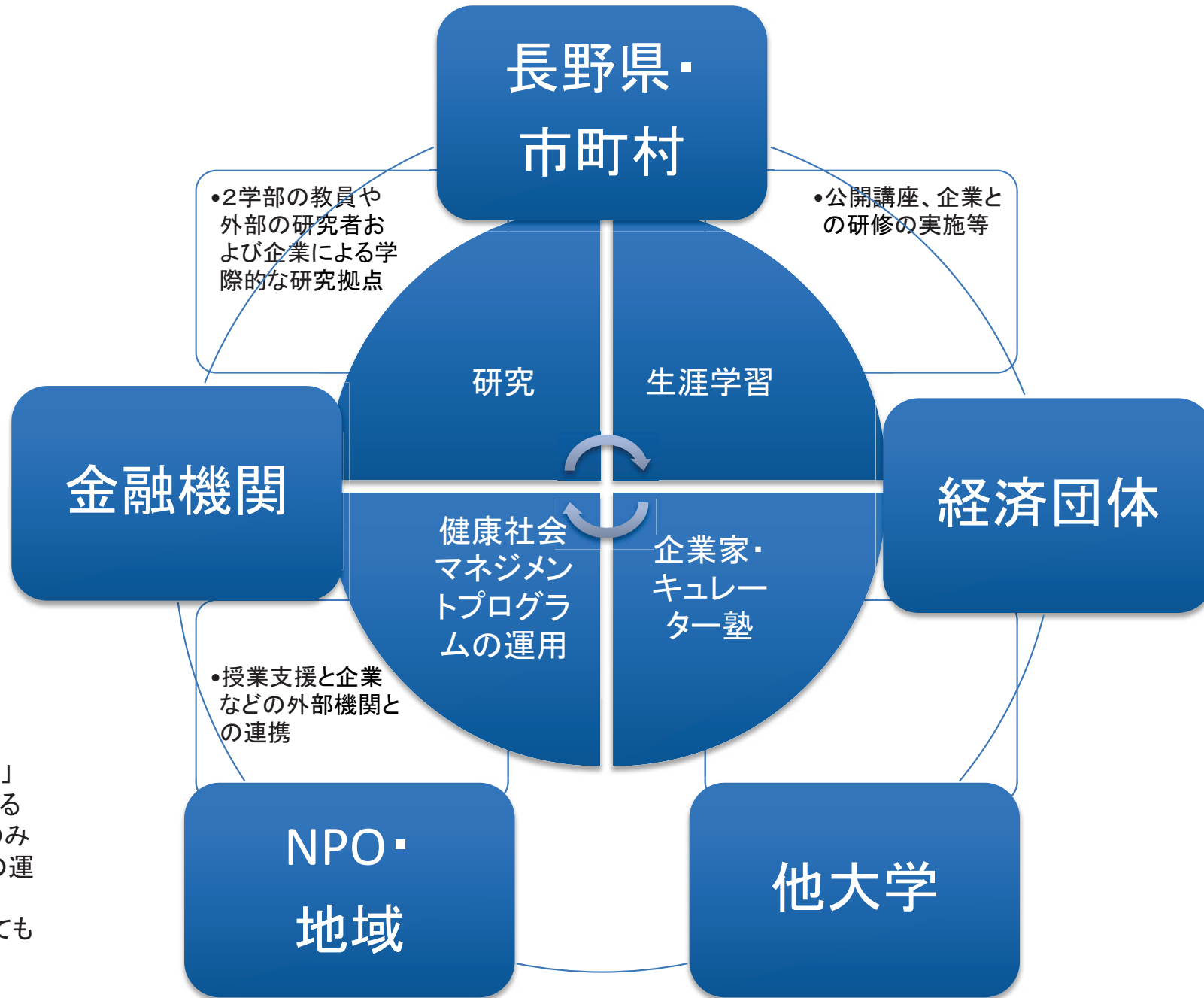
【中核プログラム】
・3年間のゼミ活動を通じて徹底的に鍛える
・3年次の3セメスターでインターシップを通じて徹底的にマネジメントを実践する



想定される就職先

健康社会マネジメント研究センター(案)

対外的な関係を集約しながら、健康社会マネジメントプログラムを運用する



※「特任教員の設置」
本センターにかかわる人は、科目の担当のみならず、プログラムの運営にもかかわるフェローとしてかかわってもらう。